

微視的停留き裂が存在する材料における疲労限度予測法

松枝, 剛広

<https://hdl.handle.net/2324/1441229>

出版情報：九州大学, 2013, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

氏名	松枝 剛広
論文名	微視的停留き裂が存在する材料における疲労限度予測法

論文審査の結果の要旨

本研究は平滑材において発生する疲労き裂の力学的近似に基づいて初期き裂を定義することによって、切欠き材などの応力集中源の疲労限度を破壊力学によって予測できる可能性があることを示したものである。種々の応力集中源を含む材料の疲労限度の評価に寄与するものであり、機械工学上価値ある業績であると認める。